創立50周年記念誌

Anniversary 50

～未来に希望を 感謝とともに～

株式会社 日中商事

令和3年11月

創立 50 周年記念誌

目　次　INDEX

50 周年記念誌発刊のご挨拶　4
代表取締役　上野　　剛

オーナー様　祝辞
宇戸田　定信　様　5
滝口　民雄　様　5

日中商事　50 年のあゆみ　8

創業者プロフィール　9
谷平　興二　様

発刊によせて
谷平　興二　様　10

シニア部・相談役顧問
戸髙　末廣　12

創業時代の思い出　13
社員旅行

祝辞
元職員　赤池　仁志　様　14
元職員　池田　邦明　様　14

元職員　井上　久弘　様　15
元職員　高田　鉄也　様　15

元職員　久澄　洋機　様　16
元職員　福富　三枝　様　16

元職員　田口　洋子　様　17
元職員　加藤　邦生　様　17

元職員　稲田　安男　様　18
元職員　轟原　孝一　様　18

創立 50 周年記念　創業当時職員座談会　20

地域との共存　28

祝辞　29
今山八幡宮蓬莱会　会長
荒木　正勝　様

祝辞　30
喜の会　代表理事
平野　英樹　様

本社・宮崎店事業実績　32

組織図　40

創立 50 周年を迎えて　41
代表取締役社長　佐々木　和幸

専務取締役　柳田　啓伸　42
取締約営業本部長　甲斐　雄登　42

部門(職員)紹介
総務部
総務部　賃貸売買経理
総務部　部長　甲斐　千春　48
総務部　賃貸経理　長池　友稀　49

賃貸営業部・賃貸管理部
賃貸営業部　部長　小坂　愛美　51
賃貸管理部部長　佐々野　真梨花　52
賃貸部　右田　愛美　53

売買仲介部
不動産売買事業部
シニア事業
売買部　安部　悟　55

シニア事業部　西島　輝夫　56
シニア事業部　谷口　正年　57

日中商事宮崎店
LIXIL 不動産ショップ
店長　島嵜　真　60
賃貸アドバイザー　咲花　紳太郎　61

清掃事業部
おそうじ本舗　延岡北店
店長　小田　賀峰利　63
班長　青木　裕太　64
班長　清松　美沙　65

未来へ向けた座談会　68

50 年先のステージへ　71

社内コミュニケーション　72

創立 50 周年記念事業　74

編集後記　75

弊社記念プロモーション DVD となっております。

地域の未来を創造する

地域の暮らしを開発し、
地域の不動産環境を守ることで、
活力ある未来に繋げます
その為に私たちは、地域密着型の総合不動産業として、
地域で暮らす人の未来を思い描き、
知恵と行動力が豊富な強いチームで地域の
安心な住まいを守り地域社会に
貢献いたします

志は高く、腰は低く
謙虚な気持ちで感謝する

私たちは、地域ナンバーワンの総合不動産を目指し、
暮らしのネットワークを創造します

◎変化する社会へ常に挑戦する

従業員一人ひとりが、モチベーション高く人間性の向上をはかり、常に人材の育成へこだわる事で、社会の変化対応し、知恵を出し挑戦する強いチームを追求します。

◎人からはじまる

お客様の身になって考え（知恵）お客様の為に身を粉にして働き（行動）、多くの人との出会いと繋がりを大切にして社会性の向上をはかり、「感謝し、感謝される」企業を目指します。

◎人生をよく生きる

社員が長く働ける、働きたいと思える環境を常に考え、社員の安定な生活を守り、幸せに過ごす事ができる経営を目指します。

ご挨拶

代表取締役　上野　剛

50 周年記念誌発刊のご挨拶

オーナー様 祝辞

宇戸田　定信 様

瀧口　民雄 様

50 周年の節目において、役割を見直し魅力を引き出し、皆様へのニーズに応えるべく最高のサービスを提供すると考えております。

令和 3 年 11 月 26 日をもって、私たち株式会社日中商事は創立より 50 周年を迎えることができました。

この大きな節目を迎えることが出来ましたことは、偏に地域の皆様、賃貸オーナー様、ご協力業者の方々、OB 社員様、皆様のご支援ご協力の賜物と、心より御礼申し上げます。

50 年と言う歴史の中には、創業者の谷平興二氏を先頭に先輩方の堪えまぬ努力があったことであろうと、創立 50 周年を迎えるにあたり、改めて感謝と敬意を表して本誌を発刊する運びとなりました。

人口減少、空き家問題、自然災害リスクの増加等、不動産業界を取り巻く環境は、ここ数年で更に大きく変わりました。昨今、不動産仲介における重要事項説明の IT 化、内覧の VR 化、不動産査定の AI 化等、このような「不動産テック」化が業界の一部に見られますが、今後はますます不動産業界の変化が進んでいくでしょう。

当社はこの 50 周年の節目において、企業としての役割（総合不動産）を見直し、魅力（社員力）を引き出し、実践していく最高の機会と考えております。お客様のライフステージ全般におけるニーズを受け止めて、それを実践・ご提案していく企業であり続けるために更なる努力を続けてまいります。

株式会社日中商事の創立 50 周年において、弊社の歴史をしっかりと振り返ることができました。また数多くの方のご協力を頂き、この記念誌を無事刊行することができたことに心から御礼を申し上げますとともに、これからも弊社に末長いご指導ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げ、記念誌発刊にあたってのご挨拶とさせていただきます。

令和 3 年 11 月吉日

代表取締役　上野　剛

祝　辞

賃貸オーナー様

宇戸田　定信 様

㈱日中商事様　創立 50 周年誠におめでとう御座います。心からお祝い申し上げます。谷平会長の人との出会いを大切に顧客を大切にし、そして延岡を愛する熱き思いが貴社の役員の皆様、社員の皆様に引き継がれての 50 年。

これも一つ通過点として、これからもパンダ印の不動産屋として、色々な事業に挑戦し、100 年目指して頑張って頂く事を願い御祝の祝辞に変えさせて頂きます。

祝　辞

賃貸オーナー様

瀧口　民雄 様

50 周年おめでとうございます。

きめこまやかなサービスと思いやりの心で、やる気、元気でこれからも頑張って益々の繁栄を祈念します。

50年のあゆみ

創業者プロフィール

発刊によせて

創業者　谷平　興二 様

発刊によせて

戸髙　末廣 顧問

創業時代の思い出

社員旅行

祝辞

元職員

日中商事 五十年のあゆみ

日中商事の出来事

昭和 46 年 11 月
三栄商事有限会社に社名変更

昭和 47 年 11 月
日中商事不動産有限会社に社名変更

昭和 63 年 5 月
株式会社 日中商事に組織変更

平成 11 年 11 月
有限会社 パンダ公司を設立

平成 17 年 11 月
有限会社パンダ公司を吸収合併

平成 28 年 1 月
株式会社プラウドを吸収合併して保険事業開設

平成 29 年 11 月
宮崎市橘通東 4 丁目に宮崎店開設

令和 2 年 12 月
おそうじ本舗延岡北店清掃業開始

延岡・日本・世界の出来事

沖縄返還協定の調印式挙行、アポロ 14 号月に着陸
ＮＨＫ総合テレビが全番組カラー化を実施
NASDAQ による証券取引はじまる

・3 月 細島ー川崎間に、カーフェリーが就航した。
・7 月 西階遊泳場が完成した。
・10 月 宮崎県北部広域市町村圏協議会が発足した。

第 1 次田中角栄内閣
沖縄が日本に復帰、浅間山荘事件
日中国交回復旧日本軍兵士帰還

・4 月 一ヶ岡小学校が開校した。
・5 月 県総合庁舎が愛宕町に新設された。
・5 月 特別養護老人ホーム「敬寿園」が開園した。
・6 月 妙田下水処理場が運転を開始した。
・7 月 国鉄高千穂線が開通した。

世界最長の青函トンネル（58.85km）開通
東京ドームが完成
世界最長の道路・鉄道併用橋の瀬戸大橋が開通
ソウル・オリンピック開催

・3 月 JR 日豊本線に旭ヶ丘駅が開業した。
・5 月「都市景観形成モデル都市」に指定された。
・5 月 出北土地区画整理事業が完了した。

東海村核燃料加工会社で国内初の臨界事故
住友・さくら銀合併、第一勧銀など3行統合と金融再編大展開
臓器移植法に基づく初の脳死移植実施

・4 月「九州保健福祉大学」が開学した。
・4 月 TR 高千穂鉄道が開業 10 周年を迎えた。
・12 月 東九州自動車道蒲江～北川間が整備計画区間に格上げされた。

愛知県で「愛・地球博」が開幕
JR 福知山線脱線事故
宇宙飛行士野口聡一がスペースシャトル「ディスカバリー」で宇宙へ

・1 月 延岡市、北方町、北浦町の合併協議会が新たに設立された。
・4 月 国道 10 号延岡道路の一部（延岡天下町ー伊形町）が開通した。11 月 台風 14 号の五ヶ瀬川水害が、河川激甚災害特別緊急事業に採択された。

熊本地震発生。震度 7 を 2 回観測。
民主党と維新の党などが合流して民進党が発
アメリカ大統領選でドラルド・トランプが勝利。

・4 月北浦、北川、北方の商工会が合併し、延岡市三北商工会が発足した。
・5 月延岡市が佐伯市とともに東九州バスク化構想を策定した。
・11 月延岡市役所新庁舎がグランドオープンした。

オウム松本元死刑囚らの刑執行
日産ゴーン会長を逮捕
米朝が史上初の首脳会談

・3 月旭化成株式会社から野口記念館建替え費用のため、市に 30 億円が寄附された。
・7 月第 41 回まつりのべおかばんば総おどりにおいて踊りの人数 2,748 人が世界記録としてギネスに認定された

新型コロナで政府が全国小中高の休校要請
東京五輪・パラリンピックが延期に
新型コロナ感染拡大、緊急事態宣言発令

・2 月教育委員会と旭有機材株式会社が人財交流協定を締結した。
・2 月富美山コミュニティセンターが開所した。
・3 月ノーベル賞を受賞した吉野彰氏へ名誉市民の称号が贈られた。

プロフィール Profile

創業者

谷平　興二 様

生年月日　昭和 21 年（1946）5 月 28 日

職歴
- 昭和 44 年シマ商事（有）個人創立
- 昭和 46 年三栄商事（有）設立
- 昭和 63 年
- （株）日中商事へ組織変更　代表取締役社長就任
- 平成 23 年（一社）延岡観光協会代表理事就任
- 平成 24 年（株）日中商事会長就任
- 平成 29 年（株）神の国から代表取締役社長就任

団体役員歴
- （財）宮崎県暴力追放県民会議理事
- 宮崎県宅地建物取引業協会会長
- （一社）延岡観光協会代表理事

主授賞
- 平成 12 年　宮崎県より地球環境保全功労賞受賞
- 平成 19 年　国土交通大臣表彰
- 平成 21 年　黄綬褒章授章
- 令和 2 年度　延岡商工会議所「ふるさと大賞」授賞
  その他表彰感謝状多数

活動歴
- 昭和 43 年　喜の会設立
- ※町づくりの若衆の集団
  延岡アースデー設立
- ※環境保全活動のスタート
  今山神社 300 貫神輿復元
  祭り延岡出会い神輿提唱
  江戸時代の今山神社秋祭り実現
  市民間伐隊設立
  子ども環境塾設立
  延岡花物語立上げ
  国内で初めて宅地建物取引業協会団体として
  民間委託業務を受注（宮崎県更に延岡市）

委嘱団体
1. 延岡市バスク化構想（監事）
2. 延岡鮎やなを考える会（理事）
3. スピリチュアル協議会（会長　延岡、日向、高千穂で構成）
4. 県沿道修景ワーキンググループ
5. 日本赤十字延岡有功章（副会長）
6. 県警沿岸警備（理事）
7. 延岡市キャリア教育（講師）
8. 今山八幡宮総代会（会長）
9. 延岡喜の会（最高顧問）
10. 延岡花物語実行委員会（実行委員長）
11. 延岡アースデー（顧問）
12. 延岡市長期総合計画策定委員（理事）

日中商事の社是
「お客様の身になって考え、お客様の為に身を粉にして働く」を決して忘れずにこれからの50年もお客様に愛される会社を目指して頑張ってください。

創業者
谷平興二様

日中商事創立50周年誠におめでとうございます。

私は現在75才になりましたが、22才の時に「シマ商事」として個人創業しました。当時不動産に対するイメージはかなり悪いものでした。
「興二不動産ブローカーにはなってくれるな」と云って、朝起きた時におふくろが枕元で泣いていました。手数料をまともに払うお客様も殆どいなく、社会的地位はかなり低いものでした。ブローカーに近いイメージの世界でした。

そういう時代にあって、私の一番の自慢、誇れるものは、会社を退職するまでの約50年間、私も社員もお客様から手数料を決まり通り頂いた事です。お客様によっては喧嘩腰で支払いをしない人もいましたが、頑として引き下がりませんでした。強く出る人とか喧嘩腰の人とか、ずるい人には手数料を引き、まともに支払う人からは頂く、どうしても私の性格上それが出来ませんでした。現在は当たり前のように正式に手数料を頂いていますが、業界の先人の苦労を忘れないでください。立派な業界になったと思います。

社名の日中商事は元々、三栄商事でしたか、法務局の手違いで1年後に日中商事に変更しました。中々良い名前が思いつかず、困っていましたが、丁度その時、日本と中国の国交が回復して、周恩来が、中国は日本に対して戦争の賠償金の請求はしないと言った言葉に大感激して、いずれ中国とも何かの仕事をしたいという願いを込めて日中商事としました。

名前が固いので、ロゴマークを募集した所、今のとても可愛いパンダマークの安心君が決まりました。個人的には、延岡の支部長そして、県の会長も経験しました。
どちらも、協会の正常化を成し遂げ、協会のお役に立てた事を嬉しく思っています。

また、宮崎市の5,000戸の市営住宅を、全国で宮崎県の協会のみが民間委託に成功しました。これは、その前の延岡市からの努力を考えますと約15年以上の時間がかかりましたが、いざ蓋を開けてみると全国では唯一宮崎県のみが受注すると云う、忘れがたい思い出になりました。

延岡で初めての分譲マンションも販売しました。50代後半は新天地宮崎で10年近く

ビルを買ったりそして沢山の宅地造成販売をしました。

宮崎での最後の大仕事、新名爪の宅地造成は言葉にならない苦労をしました。開発行為の許可が下りていたにもかかわらず工事の中止命令が来て、山を剥いだままの状態が1年続きました。その間強い台風が2個接近上陸しました。その内1個は上陸寸前に右に進路を変え太平洋にそれました。もう1個は上陸して、確かに真上を通っているのに不思議にも雨も降らず、風も吹かないのです。神様有難うございます。
心から感謝しました。

その後追加代金を1億5,000万円支払いました。また、完成後はリーマンショックに出会い全然売れません。約2年間宮崎の不動産業者やハウスメーカー等250軒を毎日、毎日回りました。

そんな時「本人が来た」と云って相手がびっくりした事がありました。丁度その時私の「黄綬褒章授章」が協会便りに掲載されていてそれを見ていた時に偶然私が訪問した様です。結末は、2011年東北大震災の影響で、ハウスメーカーが計画していたイオン周辺の開発が全て中止となり、急遽ハウスメーカーが全部引き取ってくれました。その時銀行には毎週のように「売れません、支払えません」の状況報告に行きました。そのお陰で2年間迷惑を掛けたにも関わらず却って信用がついたようです。売れた事は全くの天祐神助で私の努力では有りませんので何か不思議な、複雑な気持ちでした。

2代目社長の戸髙末廣氏の入社は、日中商事の飛躍の大きな原動力になりました。同級生の赤池仁志君、池田邦明君、小笹義晴君の3人が次々と入社し、若い力は創業時の大きな力になりました。定年まで事務として勤めて頂いた、田口洋子さん、福富三枝さんにも大変お世話になりました。

人生においても迷惑をかけっぱなしだった　いとこの谷平宗利兄がいなかったら、48歳で亡くなった同級生の日高雄市がいなかったら（今でも私の心の中にしっかりと生きています）ただひたすら可愛がってくれたお茶の杉本サエ子先生がいなかったら、私のたった一人の親分黒木山雄兄がいなかったら、足らない所ばっかりの私をしっかり支えてくれた妻の恵美子に出会っていなかったら、本当に多くの皆様のお世話になりました。

私は幸せ者です。

感謝！感謝！感謝！

想い出は尽きませんが、色々な事に挑戦できたのは、全て、日中商事の社員の皆さんが会社を守ってくれていたお陰です。私は、自分の創った会社で有りますが、社員そしてお客様のお陰で自分の好きなように不動産人生を送らせて頂きました。

日中商事の皆様、業界の皆様そしてお客様有難うございました。

上野剛社長、引き継いでくれて本当に有難う。

日中商事の社是「お客様の身になって考え、お客様の為に身を粉にして働く」を、決して忘れずにこれからの50年もお客様に愛される会社を目指して頑張ってください。

令和3年　7月吉日

谷平 興二

≪選挙・ボランティア・そして仕事≫

創立５０周年おめでとうございます。

私は入社して４２年になります。入社当時は谷平会長と私を入れて４人でした。小さな会社でしたが、とにかくびっくりしたのは仕事優先ではなく？選挙（国会議員・市長・県議）、ボランティア（喜の会活動：まつり延岡今山神輿・薪能・アースデイ等）を優先していて、この会社は何をしているんだろう、本当にダイジョウブなんだろうかと思っていました。

谷平会長の思い入れで、とにかく我が郷土延岡に活気を付けたいという信念の元『延岡・元気・一番』で、延岡の為（自分たちの為でもあります）、選挙もボランティアも仕事も大事であるとずっと続けてきました。今は体力的に無理な部分もありますが微力ながら頑張っているところです。

≪仕事≫

仕事の一番の思い出と言えば、宮崎で造成・土地販売・建売という仕事に携わり、７～８年だったと思いますが、200 区画以上完売してきたという事です。

宮崎に泊まり、宮崎の不動産業者、建築業者さんに集まって頂き、飲み食いして仲良く仕事（土地を売ってもらったり、買ってもらったり）をさせて頂きました。少しは会社に貢献できたかなと思っています。

≪ SENIOR PARTNERS ROOM ≫

現在は、上野統括、佐々木社長のもと相談役顧問という名刺を頂き弊社の２階で、いったん退職をした平均年齢 74 歳の３人組、シニアパートナーズルームという部門で、日曜・祝日・第４土曜日・毎週水曜日以外は朝８時半～夕方５時迄本当に楽しく働いています。シニアパートナーズルームでは、自分達で規定をつくり、その一つとして病気以外で退職するには、『運転免許証を返納した時に限る』となっております。ですから、この先も体力のもつ限り、一生頑張って株式会社日中商事で働きたいと思っています。

本当に今までありがとうございました。これからも末永く、株式会社日中商事をよろしくお願い申し上げます。

シニア部・相談役顧問　戸高　末廣

創業時代の思い出
社員旅行

祝　辞

元職員 赤池　仁志 様

日中商事 50 周年おめでとうございます。

50 年という大きな節目を迎えられましたことを心からお喜び申し上げますとともに、この喜びの輪の中に加えていただけることを嬉しく思います。

日中商事には、昭和 57 年 5 月に入社し、平成 11 年 8 月まで 17 年間籍をおかせていただきました。入社当時、世間知らずで欠陥だらけの私でしたが、谷平前会長より社会人として育てていただき、送り出していただきました。思えば、この 17 年間が私の人生で一番濃密で充実した時間でした。

今、日中商事は私の在籍時より格段なる飛躍を遂げ、さらなる発展を続けています。

この 50 年の歴史の中の一時期をともに過ごしたことは、私にとっての喜びでもあり誇りでもあります。

今後の日中商事の益々の発展を心から願っております。

祝　辞

元職員 池田　邦明 様

この度の創立 50 周年、誠におめでとうございます。

栄えある今日の日を迎えられた事を心よりお慶び申し上げます。

思い起こせば、当時の谷平会長から『この業界はあんたが今やっている営業よりもっと奥が深〜い業態である』という言葉を聞き、1984 年 1 月 4 日に御社に入社させて頂き、2018 年 8 月 20 日まで働かせて頂きました。

確かに毎日勉強（民法・業法・税法等）をしないとお客様より知識で優位に立てず、とても奥の深い業態でした。

貴社の社是「お客様の身になって考え、お客様の為に身を粉にして働き、そして諂うな（へつらうな）！」という言葉が好きでした。

今後とも御社のますますのご発展とご隆盛を祈念いたします。

祝　辞

元職員 井上　久弘 様

株式会社日中商事の皆様、創立 50 周年を迎えられました事、誠におめでとうございます。50 年の歴史は言葉では簡単ですが、50 年間の創業の積み重ねは、どれ程のものか、一言では言い尽くせないものと推察致します。私が貴社に入社したのは平成 6 年 8 月 1 日でした。不動産業務のことは右も左もまったくわからない状況で、当時上司であった赤池仁志 (現在 (有) 不動産情報館 代表取締役社長) 部長や他の上司から手取り足取り教えて頂き、平成 16 年 12 月末日に退社するまで支えて頂いたことは感謝に堪えません。地域社会とのコミュニケーションをとり、地域に貢献することを社訓としていた貴社の方針はすばらしいものであり当時社員の私もとても貴重な経験をさせて頂きました。貴社が 50 年かけて作り上げた良質な奉仕活動は、不動産業界の模範となるものですから、どうか惜しげもなくその長所を生かされて貴社の益々の発展の為にご尽力頂きたいと思います。それでは、半世紀の重みを感じながら、この 50 年を新たなスタートとして、次の発展にむけて邁進して頂きたいと思います。創立 50 周年、誠におめでとうございます。

祝　辞

元職員 高田　鉄也 様

貴社におかれまして、創立 50 周年を迎えられたこと、心からお祝い申し上げます。
私も、日中商事で 5 年ほどお世話になり、不動産のイロハはもとより、人生の機微を学ぶことが出来ました。独立をし早いもので 26 年目を迎えることとなり、これも、日中商事での経験が礎となって続けてこれたと思っております。誠に感謝しております。
今後の一層のご発展をお祈りいたします。

祝　辞

元職員 久澄　洋機 様

創立 50 周年おめでとうございます。

私は晩年、前代表の知遇を得て 10 年間程在籍させていただきましたが、それよりずっと以前から当社とは交流がありました。

当時の私は個人的な事情もあって、不動産業者に対してあまり良い印象は持っていませんでした。でも日中商事に出入りする様になって、その印象は見事にくつがえりました。当社の仕事を請け負ったり、またお世話をするうちに、社長をはじめ、社員の仕事に対する誠実さと見織の深さにふれたからです。

社是の「お客様の身になって考え、お客様の為に身を粉にして働く」、正にそれを実践しているように思われました。また、地域に密着し、ボランティアはもちろんの事、あらゆる行動に率先して社会貢献している事に感銘を受けました。

きびしい業界ですから紆余曲折はあったと思いますが、無事 50 周年を迎えられた事は常に前向きな姿勢と上記の事があっての事と思っています。

以上 OB らしからぬ客観的なものになりましたが、OB の 1 人として、新体制のもと、ますますの御発展をとげられる様、祈って御祝の言葉といたします。

祝　辞

元職員 福富　三枝 様

創立 50 周年を迎えられ心よりお祝い申し上げます。

平成２年に建築部（日の出町）にお世話になる事となり、数か月で賃貸部（紺屋町）に配属され、明るい谷平会長、優しい梅田さんに囲まれ家族同様に可愛がって頂きました。

当時は丸の内ビル管理・カラオケ集金、又、福祉大が出来、学生が沢山アパートを探しにみえ、社員一同で案内して頂いたことなど、思い出は尽きることがありません。

谷平会長・奥様・戸髙社長・社員の皆さんからとても優しくして頂いたお陰で２２年もの長い間勤めることが出来、感謝の気持ちでいっぱいです。　ありがとうございました。

今後もますますのご発展心よりお祈り申し上げます。

祝　辞

元職員 田口　洋子 様

株式会社　日中商事　50 周年おめでとうございます。

早いものですね。私がお世話になったのが昭和 58 年でした。沢山の人にお世話になりました。ありがとうございました。

色々な事も勉強させて頂きました。今でも役にたっています。慰安旅行では色々な所に連れて行っていただきました。

目的地に着くまでの道中で、お酒で盛り上がっていた谷平のあんちゃんを思い出します。とても賑やかでした。

内牧温泉では、旭化成の陸上部の方々と同じホテルでお風呂が一緒でした。

沢山の思い出をありがとうございました。感謝でいっぱいです。これからも皆様のご健康とご多幸と会社の繁栄を祈っております。

祝　辞

元職員 加藤　邦生 様

この度創立 50 周年の記念日を迎えられ、誠におめでとうございます。

私は、株式会社日中商事に 55 歳から定年まで在籍して総務の仕事を致しました。その歳まで経験したことのない不動産業という分野に身を置き、多くの経験と沢山の知識を得ることができました。

中でも佐土原の宅地造成販売事業や敷地競落から手掛けたマンションの建築及び販売事業は死にもの狂いに働く谷平興二会長の姿とともに深く記憶に残っています。

仕事以外でも多くの楽しみがありました。 足腰を痛めながらも老いの血をたぎらせ、意気が燃えた神輿担ぎの”炎の男組”では多くの方と親しくなりました。 社員旅行で行ったグアム島では久澄さん西島さんには親しく行動を共にして頂き楽しい思い出ができました。 地球環境を守るアースディ活動の実践と、”くじら塾”での勉強会は貴重な経験でした。

これからも 代表取締役社長の佐々木さんを始め社員皆さんの活躍を期待し、(株)日中商事の益々の発展を楽しみにしています。たまには事務所にお邪魔致しますので、歓迎して下さい。

祝　辞

元職員 稲田　安男 様

50 周年おめでとうございます。

私、稲田安男は、昭和 59 年当初から 62 年までの３年６ヶ月、また、平成 11 年７月から 12 年末までの１年６ヶ月、通算５年間建築部の一員として務めさせて頂きました。谷平社長の時代でした。特に、平成の時は谷平社長の御厚意によるものでした。

この５年間で学んだこと、それはお客様第一主義ということでした。ただ、当時若い私にとっては、十分な理解が難しいところもありました。その中で、私は建築部でしたので、不動産売買には疎いのですが、日中商事は良質の物件をまずお客様に紹介します。他社ではどうだったのでしょう。これがお客様第一ということなのかなと考えました。

昭和 59 年入社時から戸髙さんはじめ池田さん、赤池さん、そして亡くなった小笹さん達、先輩方々には大変可愛がって頂き、今に至るまでお付き合いいただいております。正式な社員としては５年間でしたが、前後合わせて 40 年間日中商事と共にありました。本当にお世話になりました。

私が在籍した頃とメンバーは変わりましたが、益々のご活躍をお祈り致します。
又、これからもよろしくお願い致します。　本日は、誠におめでとうございます。

祝　辞

元職員 轟原　孝一 様

株式会社　日中商事　創業５０周年おめでとうございます。

私は、通算すると３０年近くお世話になっています。

日中商事の信用で、毎日おいしいご飯を食べさせて頂いております。

これは離れるわけにはいきません。明るく、楽しく、現状維持で付いていきます。

株式会社　日中商事　万歳。

創立 50 周年記念
創業当時元職員 座談会

谷平　興二 様
戸髙　末廣 様
赤池　仁志 様
池田　邦明 様

歴史に感謝

創立 50 周年記念 OB 座談会

元職員 赤池 様　　元職員 池田 様　　創業者 谷平 様　　（現職）戸高顧問

佐々木社長

おはようございます。本日はお集まり頂きありがとうございます。

この座談会で株式会社日中商事創立５０周年の記念すべき年に、創業者の谷平会長そして、創業時より日中商事を発展させていただいた先輩方より、弊社の歩み・歴史を知るきっかけとなればと考えましてお集まりいただきました。

まず、谷平会長は島野浦に沢山のゆかりがございますが、せっかくの機会ですので、会長のプロフィール・生い立ちを簡単でいいのでお聞かせいただけますか。

谷平 様

私はですね、島野浦で戦争疎開中に生まれたそうです。姉２人と兄は島野浦に一時いたそうですが、私は生まれただけです。岡富小学校、岡富中学校、延岡高校卒業、大学は事情があっていけませんでしたが。島野浦での出来事として、不動産住宅建築をはじめたとき、島野浦で何軒か家をつくって頂きました。親戚の家を完成させ展示会をしていると、おばあちゃんが入ってきて、「谷平興ちゃんはどの人ですか」「私ですけど」「あなたは私が取り上げたのよ」と。昔の産婆さんですね。そういう大変嬉しい出会いもありました。

神舎を修復するときには、１００万円程寄贈しました。非常に喜んでいただき、感謝状も頂きました。そのほかカラオケセットを寄贈したりしました。私にとって島野浦は生まれ故郷であります。私の人生、正直で単純が一番いいと。とにかく正直であれ、一番のモットーで生きてきました。島野浦に行くと正直単純の人たちに出会う。ああ、だから私はここがルーツだなと思う。島野浦は私にとっても大切な生まれ在所であります。

佐々木社長

谷平会長が、昭和４６年に不動産事業をはじめられた当時は延岡市や日本を振り返ればどの様な時代でしたか。

谷平 様

私が高校卒業して４年間洋服の仕立業を手伝って不動産の仕事をはじめました。

その頃は商売人が胸張って生きていました。商売人の悲しいところですが、儲かれば自分の力、損したら人と。まちには自分は何もお手伝いしなくても、自分の庭先だけきれいにしていればいいという考えの方が大半でした。私はどれだけ政治をしたらいけない、ボランティアをしたらいけないと、そんなことしていたら会社潰れますよと、どれだけ言われたか分からない。ところが不思議ですけど精一杯やってきた私が生き残って、そういうことを言った方は生き残っていない。だから商売人が生き残るためにはまちが栄えてこそはじめて成り立つ。そう思っております。

当時の日本は、田中角栄さんの日本列島改造論、若い方は知らないと思いますが。あの方はロッキード事件で逮捕刑事被告になりましたが、やはり小学校卒にして、総理大臣まで上り詰めた。今の政治家と違って非常にメリハリがはっきりしていた。その方が、日本国中、地方も一緒に発展しなければならない。東京一極ではいけない。過密都市から地方への工業分散、新地方都市の建設、

高速道路・新幹線などの高速交通網の整備を柱とした日本列島改造論を立ち上げました。また当時、日本と中国の国交が回復、中国が、周恩来が、日本に戦争賠償責任は問わないと言ったんです。賠償責任を問わないという言葉に感激し、いずれ中国とも何かの仕事をしたいという願いを込めて社名を日中商事としました。このような時代背景、世の中でありました。

柳田専務

次に戸髙顧問にお聞きします。本日お集りの皆さんの中で一番初めに日中商事に入社したと伺っておりますが入社した経緯を教えていただけませんか。

戸髙 様

28 歳の 4 月に入社したと思います。それまでは東京におりまして、延岡に帰ろうか迷っていた。谷平会長と私の兄が同級生で、小さい時から谷平会長を知っていまして、こっちに帰ってこないかということで、ちょうどいい機会かなと思って延岡に帰ってきて入社しました。

柳田専務

その当時の日中商事の印象や谷平会長のイメージをお聞かせください。

戸髙 様

それまで仕事をしたことがなく、何が仕事で何が遊びかよくわからない状況で働いておりました。谷平会長の印象としてはとにかく朝が遅い。昼くらいからしか出勤してこない。

だからどこから仕事が始まって、どこで終わるのかよく分からなかった。

昼くらいに谷平会長が出てきて、それから打合せ等いろんなことをして、私たちが終わる 17 時 18 時頃から谷平会長が絶好調になってきて 21 時くらいまで引っ張られて、それから飲みに行く、そんな毎日でした。

甲斐本部長

続きまして、赤池社長が日中商事に入社した経緯をお聞かせください。

赤池 様

私が入社に至った経緯としまして、ある時、私が親と喧嘩して東京に行くという話を聞いてのことなのか、戸髙君より、谷平会長から話しがあると言っていたと聞きました。スカウトされるのかなと思っていましたが、私は営業ができない人間だったので、行かないぞと言っていたのですが、戸髙君がしつこく、とにかく顔だけ出せとのことだったので行ったら案の定誘われました。営業はできないですと谷平会長に言ったら、営業しなくてい

い仕事を作っているとのことで、物件整理をするということで入社しました。

甲斐本部長

赤池社長が入社した際の谷平会長のイメージをお聞かせください。

赤池 様

入社しないか誘われて迷っていて、友達とかに話しをすると、日中商事はやめときねと言われました。なんでと聞くと、谷平さんに騙されるよと言われました。私は分からなかったので、入るときに谷平会長に私を騙しませんか？と聞きました。そしたら、谷平会長から、赤池君を騙して何の得があるかと言われました。赤池君は俺より、金、人脈、知識がないのに騙して何を得するかと言われて、成程なと思って入社しました。

佐々木社長

次に池田さんにも同様に、池田さんが日中商事に入社した経緯をお聞かせいただきますか

池田 様

昭和５９年１月４日に入社。学校卒業してからは営業一筋。昭和５９年に入社する前は、ある営業をしていましたが、その時に谷平会長から今でも覚えています【今やっている仕事より不動産業というのは非常に奥が深い仕事】だと、その言葉に興味をもち、やってみたいとおもい、入社することとなりました。

しかし、ひとつなかなか入社するに至らなかった理由は、社会保険がなかった。法人で社会保険がないのは珍しいというか。今思えば当たり前でしょうけど。それを言っていたら、私が入社した際、社会保険ができました。感謝しております。

入社する興味をもったきっかけ、不動産業というのは非常に奥の深い仕事である。その後入社して何億円もの取引をして頂いた大阪の会社社長がいますが、社長と最初に会ったときにも、あなたは前職何をしていたか聞かれたところ、たしかにその業態より不動産業は奥が深いと言われたことを非常に覚えています。

佐々木社長

池田さんにも入社した時の日中商事の印象や池田さんが感じた谷平会長のイメージをお聞かせください。

池田 様

一番覚えているのは、零細企業じゃないですか。正直私は一部上場の会社とか大手に勤めていました。入社して思ったこと、それは公私混同。例えば、事務所に子供をつれてくるなど。私はあまり好きではなかった。そしたら谷平会長から言われたのが、当社は大手企業とは違う。零細企業だから子供、奥様がきて何がいけないのかと言われたこと、すごく印象に残っています。

柳田専務

谷平会長以外の戸髙顧問と赤池社長、池田さんは同級生ですが、もう一人同級生の小笹義春さんも創業当時の間もないころから一緒に日中商事を発展させていただきました。

残念ながら早くに他界されましたが、小笹義春さんはどの様な人物だったのか簡単にお聞かせください。

赤池 様

小笹君とは中学が一緒でしたが日中商事に入社するまでは付き合いがなかった。それから日中商事に入って付き合いが始まりました。彼は日中商事に入社する前は建築会社をしていましたので、日中商事入社後すぐ建築部

門の責任者になりました。
　建築について理屈は多かった印象があります。「あんた屁理屈が多いよね」という喧嘩を仲良くしていました。戸髙君が一番仲良かったと思います。

池田 様

　小笹君は義春なので「よっちー」って呼んでいました。印象というか覚えているのは、毎日飲みに行ってましたね。それしか覚えてないです。本当に毎晩飲みにいってました。

戸髙 様

　私は小笹君とは非常に仲が良かった。小笹君は建築業をやってましたが残念なことに倒産して、そのころ日中商事には建築部門はなかったんですが、谷平会長と話し合って、日中商事の建築部門として来てもらうようになりました。

甲斐本部長

　では、最後に谷平会長にお聞きします。小笹義春さんの人物像と建築部門を作った経緯、また建築部門をやめた経緯を差し支えなければお聞かせください。

谷平 様

　赤池君、池田君そして小笹君も戸髙の同級生と言うことで戸髙を通して入社しました。戸髙の年代は人間的に

信用できる。そして非常に尽くし型、補佐役に恵まれていたと思います。
当時建築の依頼を多く受けており、外注しておりましたが、あるとき久澄さんから自分でしたらどうかと言われ、そうだなと思って建築を始めました。
そこにちょうど戸髙と同級生の小笹君が建築業をしていたとのことだったので、戸髙を通じて来てくれました。建築部門紆余曲折もありましたけど、結果的に小笹君が独立して、立派に会社を立ち上げてよかったなと思います。

座談会に続き、Q & A

質問①

小坂部長

　創業当時の事務所はどこで、どのくらいの広さだったのでしょうか。

谷平 様

　一番最初は、現在瀬之口町のせんたく村さん（幸文館書店さん跡）があるところです。
東南の土地はいいという事で、当時建物を借りてはじめました。現在の日中商事は３番目の事務所になります。

質問②

甲斐千春部長

　創業当初、同業者はどのくらいあったのでしょうか。

戸髙 様

　今とかわらないと思います。増えたり減ったりで１２０社程あったと思います。

谷平 様

それは誰でも簡単に開業できました。当時の不動産業者

とも相当喧嘩もしました。口で言ったことと実際が違うとかで。自分は言ったことは守らないといけないと思っていたからですね。

質問③

佐々野部長

創業当時からの事業内容はどのようなものがあったのでしょうか。

谷平 様

今とほとんど変わらないと思います。
売買仲介と賃貸仲介と、当時、売買はあんまりなかったね。昔は買えなかった土地もたくさんあります。銀行に融資の相談をしてからになりますので。融資のお願いに何度も行くわけです。もう帰れと言われたこと何度もあります。

質問④

右田社員

現在は当番制にて出勤を行っているが、当時はどのような体制だったか。

赤池 様

いつ始まっていつ終わるかわからない。先程戸髙顧問が９時頃までと言っていましたが、私は結婚したばかりだったんですけど、１時、２時ということもありました。会長は夕方くらいにきて、我々と起床時間が１２時間位ずれているものですから、夜の１時位が我々の昼の１時です。絶好調となるわけです。

私が入ったのが５月なんですが、お大師さん休みというのもありました。

当時は 10 時出勤でしたが、会長に普通は９時ですよと。それから９時に変わりました。

戸髙君たちに恨まれましたけど。そういった勤務体制でした。

谷平 様

ひとつも覚えてない！

赤池 様

私はしっかり覚えてます！！

質問⑤

小坂社員

当時の集客方法はどのようにされていましたでしょうか。

池田 様

昔は手書きのビラを作成していました。ワープロとかもなかった時代。それを折り込みにしていたというのを覚えています。それと夕刊デイリー広告もだしていました。

谷平 様

夕刊デイリーは、当時日中商事が年間で一番払っていたときもあったね。

赤池 様

会長は夕刊デイリー広告を初めにバーンと載せるんですよね。月に２回夕刊デイリー、月に１回夕刊ポケット。あの当時、会長が言ったのは、【延岡は不動産の不況の時だと。不況の時こそチャンスだ。今広告出すと、目立つから】と。当時私の給料が１０万円で、一回の広告も１０万円で。不況の時だといっているのに。だからこの人はすごいな。変わってるなと思っていました。それを会長はずっと続けましたね。

質問⑥

右田社員

携帯電話のない当時は、他社員とどのように連絡をとっていたのでしょうか（緊急時等）

池田 様

ポケベルがあったね。それが鳴ったら、公衆電話から事務所に折り返し電話をする。当時事務所の人にも番号があって、何番からの電話っていうのが、分かるんです。無線も使っていたね。しかしなかなかつながらないのでやめましたが。

赤池 様

そうそう。赤池ですどうぞって言っていました。
間違って電話に出た時にもどうぞって言って、大笑いしたこともありました。

質問⑦

佐々野部長

当時の日中商事を知る先輩方から見て、今の日中商事はどのように映りますか。

赤池 様

上野統括になって、はるかにスケールが大きくなった気がしている。自分がいたら、こんなにならなかっただろうなと羨ましく、応援しております。

質問⑧

甲斐千春部長

この仕事を通じて、大事なことまたはやっていてよかったと思う瞬間を教えて下さい。

池田 様

今回の座談会の件で、統括より何度も連絡をもらい、昔のことを思い出しました。

「くじーわっ」て。これは谷平会長の教えだと思うんですけど、私は１回言われれば手帳に書きますが、ところが、それをしないと約束を守らない人がいるという事だと思います。そういう昔の事を思い出しました。

谷平 様

今のは、とても大事な事で、私の唯一の特徴は、しつこい・あきらめないという事。

ほかは何もないです。ただそれだけでやれてこれた気がします。あきらめないと、一生懸命という事が仕事にはとても大事だということですね。

質問⑨

小坂部長

思い出に残っている社員旅行は何でしょうか。

戸髙 様

菊池温泉が一番の思い出。入社してすぐの高田君が、宴会で盛り上がり、全裸になった所で福富さんが入ってきた事が非常に印象に残ってます

質問⑩

長池社員

これからの未来の日中商事や、不動産業界へ一言お願いします。

谷平 様

まず、真面目で一生懸命にというのが一番大切ですね。

お客様の為に一生懸命になる。
不動産というのは、一生に一度の買い物となる事が多いです。相手の心に入り込み、人との付き合い、関係を大切にすることで、相手からの信頼を得る事ができると思います。その結果、自分の為になるんです。
　そこまでいくと会社も素晴らしくなるし、みなさんの人生も素晴らしいものとなります。

戸髙 様

　今のままでいいと思います。上野統括と佐々木社長がよくやってると思います。
お金の管理（お客様から預かった大切なお金）を大切にして下さい。

赤池 様

　会社の雰囲気がいいですね。ほんとにいい会社になったなと思います。
　以前、家主様から上野君が台風の時に看板・外階段が飛ばないようにロープで養生していた事があったと。そういう上野君の姿勢が社員に伝わってるんだろうなと思います。すばらしい会社だなと思います。

池田 様

　退職して４年半。用事が年１回ほどあって来るんですけど、会社が新しく変化しているのがすごいなと。上野君の発想だと思います。
それと、よく思うのが、新聞広告に掲載されている宮崎市の物件の担当者が、全て上野君の名前になっているので驚いています。素晴らしいなと思っております。

佐々木社長

　今日は座談会にお集まり頂き、ありがとうございます。今回の話を伺ってこれからも日々努力、精進して、先輩方からみていい会社だと思って頂けるように頑張っていきますので、今後共ご指導よろしくお願いいたします。
本日はありがとうございました。

地域との共存

今山八幡宮蓬莱会　会長

荒木　正勝 様

喜の会　代表理事

平野　英樹 様

地域との共存

祝　辞

今山八幡宮蓬莱会　会長

荒木　正勝 様

このたびは創立 50 周年を迎えられ、誠におめでとうございます。

この日を迎えることができましたことは、ひとえに社長をはじめ、社員皆様がたの並々ならぬ御尽力の成果とお慶び申し上げます。ひとくちに 50 周年と申しますが、昨今のような社会情勢の変化の激しい世の中で、一つの企業が生きつづけるということは並大抵のことではありません。

御社につきましても、いくつもの困難があり、そのたびに人知れぬご苦労と工夫があったことと拝察いたします。そんな中で今日の御隆盛を成し遂げておられますのは、ひとえに日々の努力を継続された賜物によるものと拝察いたします。

私は、25 年ほど前からのおつきあいとなりますが、当時から比べましても事業規模も人員も大きく拡大しました。当初から、現会長の谷平氏、前社長の戸高氏の強いリーダーシップ、そして社員の方々の行動力にはいつも感心いたしております。今山八幡宮のお神輿担ぎが初めてのつき合いですが、その前から会社上げての 300 神輿の復元とともに担ぎ手の若衆集めに御尽力されたことにも、私にとっても人生の大きな糧となっています。

また、お神輿だけではなく、かず多くのボランティア活動、イベントの開催等には社員一丸に先頭となり積極的に動き、延岡のふるさとを思う強いおもいは、地域活性に繋がることは願ってもない喜びであり、これぞ日中商事様の神髄であると思っております。私たち蓬莱会の活動が存分にできますのも、日頃ご支援を頂いております御社皆様のご協力なくしては、出来ないことだと常に心に留め置き、感謝の念を懐いてるしだいです。また、御社の 50 周年のご発展は、これまで築かれてきた伝統と、このすばらしい人材あってのことと感嘆する次第でございます。

最後に、御社がこれからも伝統を活かし、人材を生かしながら、社内一丸となってさらなる飛躍をとげられんことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立 50 周年、誠におめでとうございます。

祝　辞

喜の会　代表理事

平野　英樹 様

この度は創立 50 周年を迎えられ、誠におめでとうございます。

この日を迎えることができましたことは、ひとえに谷平会長はじめ戸高顧問、上野社長、佐々木社長並びに社員の皆様がたの並々ならぬ御尽力の成果とお慶び申し上げます。ひとくちに 50 年と申しますが、昨今のように社会情勢の変化の厳しい世の中で 、一つの企業が生き続けるということは並大抵のことではございません。
御社につきましても、いくつもの困難があり、そのたびに人知れぬご苦労と工夫があったことと拝察いたします。

そんな中で今日の御隆盛を成し遂げておられますのは、日々の努力を継続された賜物によるものと拝察いたします。私は 20 数年前からのお付き合いとなりますが、おつきあいが始まった当初から、現会長の谷平興二氏の強いリーダーシップに惹かれ会長が築いてこられた喜の会に入会いたしまして現在もその意思を引き継ぎ活動させていただいております。

御社の 50 年のご発展は、創業時から『人からはじまる』を合言葉にされ人とのつながりを大事にされ社員の皆様がそれを理解し努力を重ね培ってこられたからの
賜物であり成し遂げられたものと感嘆する次第でございます。

御社がこれからも『住みよいまちづくり』のためご尽力いただき、社員一丸となってさらなる飛躍を遂げられんことをご祈念申し上げます。

創立 50 周年まことにおめでとうございます。

本社・宮崎店事業実績

延岡本社実績例

マザーアースマンション

大貫町リフォーム住宅

浜町リフォーム住宅

緑ケ丘リフォーム住宅

延岡本社土地開発実績例

グローイングプレイス大貫

プレステージヒルズ野地

岡富分譲予定地

宮崎店建物実績例

薫る坂　第一モデルハウス

薫る坂　第二モデルハウス

薫る坂　第三モデルハウス　地鎮祭

薫る坂　第三モデルハウス

生目台

宮崎店土地開発実績例

月見ケ丘土地

大塚土地

大塚土地

宮崎店土地開発実績例

新名爪分譲地

恒久分譲　グローイングプレイス南宮崎

星叶台建売分譲地

私たちの夢

私達は
「接客オンリーワンの企業から
「地域ナンバーワンの信頼獲得」を
目指しております。

組織図

創立 50 周年を迎えて

代表取締役社長
佐々木　和幸

専務取締役
柳田　啓伸

取締役営業本部長
甲斐　雄登

私達は
「接客オンリーワンの企業から、
「地域ナンバーワンの信頼の獲得」を
目指しております。

上野　剛
代表取締役

佐々木　和幸
代表取締役社長

柳田　啓伸
専務取締役

甲斐　雄登
取締役営業本部長

延岡本社

総務
- 経営経理
- 賃貸管理経理
- 甲斐　千春 部長
- 長池　友稀

賃貸事業部
- 営業部
  - 小坂　愛美 部長
    - 賃貸仲介事業
    - 賃貸管理事業
    - 契約更新事業
  - 右田　愛実
- 管理部
  - 佐々野　真梨花 部長
    - 指定管理事業
    - 管理家賃督促

不動産売買事業部
- 佐々木　和幸
- 柳田　啓伸
- 甲斐　雄登
- 安部　悟
- 不動産買取再生事業
- 火災保険事業
- 自社売買管理事業
- 空地空家管理事業
- 売買仲介事業
- 賃貸巡回清掃管理事業
- 西島　輝夫
- 戸髙　末廣
- シニア事業
- 谷口　正年

生命保険事業

清掃事業部
- おそうじ本舗延岡北店
- 賃貸巡回清掃事業
- 小田　賀峰利 店長
- 清松　美沙 班長
- 青木　裕太 班長

延岡北店

宮崎店

LIXIL不動産ショップ 日中商事 宮崎店
- 島嵜　真
- 咲花　紳太郎

創立５０周年を迎えて
継承・挑戦・さらなる一歩・未来へ

令和３年１１月２６日、株式会社日中商事は創立５０周年を迎えることができました。５０年もの長きにわたり事業を継続してこられたのは、これもひとえに、永年にわたって弊社をご愛顧いただいているお客様をはじめ、パートナー企業様、多くの関係各所の皆様の多大なるご指導・ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

５０年という歴史を振り返り、今日わが社が存続しているひとつに創業者、諸先輩方たちが業界の開拓者として業界の発展と地位向上に努めてきた道のりがあり、知恵と努力を重ね、今の信用信頼の礎を築いていただいたことに感謝すると共に、これから将来につなげていくことが我々の使命であり、信用信頼の重み、大切さを５０年企業となった今、あらためて感じております。

昨今の社会情勢、環境変化、我々を取り巻く不動産業界も社会環境の変化に合わせて、消費者のニーズも変化し、同時に多様化しています。これまで以上に変革と挑戦による新たな価値を創造していくことが求められます。

このたびの５０周年をより良き機会と捉え、創業者の意思を受け継ぎつつ、現状に満足することなく常に挑戦し続け、未来に向けて更なる一歩を踏み出し、これからもなお一層地域の皆様のお役に立ち、感謝し、感謝される企業であり続けるため、社員一同新たな決意で社業の発展にたゆまぬ精進を続けてまいります。

今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長　佐々木　和幸

お客様に寄り添って、お客様の視点、立場で物事を考え、その状況下の中で最善な方法を見出していく。

専務取締役　柳田　啓伸

日中商事に入社して早９年、この記念すべき大きな節目に日中商事の一員として立ち会えたことを大変光栄に思っております。弊社が創立 50 周年を迎えることができたのも諸先輩方の絶え間ないご尽力、お取引をいただいたすべてのお客様、関係者の皆様のご愛顧、温かいご支援、ご指導によるものと深く感謝を申し上げます。

弊社社是　―「お客様の身になって考え、お客様の為に身を粉にして働く」―全てのお客様に 100 パーセントの満足をご提供することは不可能なのかもしれません。しかしお客様に寄り添って、お客様の視点、立場で物事を考え、その状況下の中で最善な方法を見出していく。「日中商事ならなんとかしてくれる」お客様にとってそんな会社でありたい。

時代とともに事業内容は変化してきましたが、人とのつながりを最も大切にするという姿勢、会社の方針は創業当時となにも変わりはありません。

日々変化する時代の中で、日中商事が地域･社会にとってなくてはならない存在であり続けるために、我々不動産業に与えられた使命を深く胸に刻み、次の 60 年 70 年、その先の 100 年を見据えて、より魅力ある、信頼される企業になるために今後より一層精進してまいります。今後とも何卒宜しくお願い致します。

創立 50 周年を迎え
とことんお客様に寄り添える企業を目指す。

取締役営業本部長　甲斐　雄登

日頃より、株式会社日中商事をご愛顧頂き誠に有難うございます。この度、創業昭和 46 年 11 月 26 日から創立 50 周年を迎える運びとなりました。これもひとえに皆様の支えがあったからと深く感謝申し上げます。現在に至るまで､諸先輩方の歩んできた道のり（歴史）があり現在の会社があると思っております。誠にありがとうございます。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

どこに行っても、日中商事は有名な会社だねと言われることが多くあり、お客様からも日中商事なら大丈夫とよく言って頂くことがあります。これも会社の歴史があり、それを築き上げてきた歴代前任者の方々の賜物です。私どももこれから先そういった存在になるべく日々努力して参ります。本年は、50 周年新規事業として新たに清掃事業部（おそうじ本舗延岡北店）を開業致しました。こちらの事業は、アパート、戸建てのハウスクリーニングや、個人宅のエアコン、浴室、トイレ等の水回りを個別に清掃を行っております。普段の掃除では手の届かないところでもおそうじ本舗では分解して洗浄を行い、とてもきれいになりお客様にも喜んで頂いております。小田店長をはじめ、令和３年２月に入社した新入社員２名が日々勉強し、現場に出て作業して頂いております。不動産に関係のある事業で、今後益々会社を盛り上げていけると確信しております。

日中商事をこの先、60 周年、100 周年を迎えられる企業を目指し、これからも何事にも全力で、とことんお客様に寄り添える企業を目指して参りたいと思います。

部門紹介

総務部

賃貸事業部

不動産売買事業部
シニア事業部

宮崎店

清掃事業部

総務部

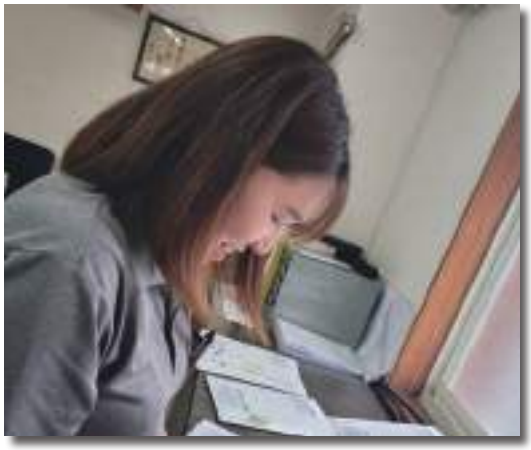
総務とは、他の専門部署が請け負わない様々な社内業務を担うポジションで、主に事務や管理業務を中心とした仕事を進める部門を指します。企業によってその業務内容はさまざまですが、直接的な利益を生む業務こそないものの、会社全体の各業務をスムーズに遂行するためのバックアップを行う重要な役割を担っています。総務が請け負うさまざまな業務は、内容によっては人事や広報、法務や経理、労務や経営企画などの専門部署として独立することもあり、その業務範囲は多岐にわたります。

さらに管理物件の家賃入金管理も重要な仕事の一つです。
会社のお金を取り扱う仕事の為、正確性は最も重要となるスキルです。
些細な事にも気を配り、確認を取りながら正確な仕事をする必要があります。

主に賃貸売買経理・総務を担当させて頂いております。
入社して今年で１４年になります。賃貸営業、経理、総務と色々な部署を経験させて頂き、お客様そして諸先輩方、家族に支えられ、現在まで続けてこられたのだと思っております。
また一人の母として、仕事と家庭の両立、そして 50 年という素晴らしい歴史ある会社成長の為に、微力ですがこれからも精一杯努力して参ります。

明日も盤石の体制で
会社を支えよう。

賃貸売買経理・総務部 部長
甲斐　千春



多岐多忙の業務に驚き オーナー様との架け橋 になりたいです。

賃貸経理

長池　友稀

創立 50 周年おめでとうございます。

このような素晴らしい節目に一職員として迎えられることを大変嬉しく思います。

日常の業務は、家賃管理や送金をしています。

入社当初は物件の多さ、送金の大変さに驚きました。

入社して 1 年弱ですが、まだまだ物件情報等、覚えることが沢山あるので、一生懸命頑張りたいと思います。

またオーナー様とお会いする機会があまりありませんが、よろしくお願いいたします。

賃貸事業部

皆様の「住みたい住まい」にお応えするため、アパート・マンション・一戸建等さまざまな物件を取り扱っております。また、お客様のニーズにお応えするべく、「貸したい」、「借りたい」双方に的確なサポートを行い、安心と信頼性の高い賃貸サービスを提供してまいります。
お申込みから、契約締結、入居中のトラブル対応まで、全てご対応させて頂きます。**●営業部（賃貸仲介事業・賃貸管理事業・契約更新事業）**

賃貸管理部

オーナー様の賃貸管理業務を代行いたします。《賃貸管理業務》
①空室募集業務
②入居審査から賃貸借契約の締結業務
③入居中の家賃集金業務、滞納督促
④クレーム対応、設備修理手配
⑤契約更新業務
⑥退去立会い、敷金精算、現状回復工事見積り等の解約
　受付、退去業務

まず、創立 50 周年という、大きな節目の年に、社員の一員である事を誇りに思います。

入社してからも、そしてこれからも経営理念の一文でもあります「謙虚な気持ちで感謝する」を忘れず、「いなくてはならない人」を目指して仕事に励んでいきます。

今後とも何卒よろしくお願いいたします。

謙虚な気持ちで感謝
いなくてはならない人

賃貸営業部　部長

小坂　愛美

私はこの不動産業の職種に以前から興味があり、日中商事の門を叩き入社させて頂きました。現在は賃貸の仲介・ｵｰﾅｰ様の資産を守る管理部として業務を行っておりますが、各皆様の立場になって行動し、親身になって業務を行う事を日々の目標に取り組んでおります。

弊社日中商事の 50 周年との事で、この歴史ある日中商事の 50 周年時期に勤務できる事に感謝し、これからも沢山の皆様と繋がって参りたいと思っています。

今後とも宜しくお願い致します。

皆様の立場になって
親身になって接する

賃貸管理部部長

佐々野　真梨花

いつも感謝の気持ちと
いつも初心を忘れず

賃貸部

右田　愛実

50 周年おめでとうございます。令和元年 11 月に入社し、もうすぐ 2 年が経とうとしている中で、50 周年というこの大きな節目の年に、一社員であることを嬉しく思います。

初めての不動産業界で不安な気持ちでのスタートでしたが、優しくもあり、時には失敗を叱ってくれる方々がいる環境と、オーナー様方、各業者様に感謝の日々です。
感謝の気持ちと初心を忘れず、精進してまいる所存です。

今後とも宜しくお願い致します。

売買仲介部
不動産売買事業部
シニア事業

売買仲介部とは

不動産の売買・購入を安心して行っていただくために、お客様にとって何が大切であるかを一緒に考え、専門家としての適切なアドバイスを行いながら、お客様の将来を見据えた最善のご提案をさせていただきます。不動産売却・購入に関するご相談はもちろん、不動産に関する税金や、相続の相談、資産活用等、様々なお悩み事にも全力でサポートいたします。

不動産買取事業部とは

不動産の早期売却を希望されているお客様のニーズにお応えするため、中古住宅・土地を当社が直接買取りするシステムです。買取りした物件はリフォームや土地分譲をして、弊社が売主となり販売します。

「仲介」の場合、物件がいつ売れるかわからない、決済までに相当な時間がかかる、融資承認が得られずに契約が白紙になった、売却後にトラブルが発生した等、ある程度のリスクが存在します。

「買取り」に求められるのは、スピードと確実性、そして安心感。売主様のご要望に対していかに手間を取らせず、迅速に対応できるかが重要だと考えております。

その他の事業

●不動産売買再生事業　●自社売買管理事業　●売買仲介事業
●火災保険事業　●空地空き家管理事業　●賃貸巡回清掃管理事業

今後 60 年、70 年と続いていく会社

売買部
安部　　悟

50 周年おめでとうございます。

私も日中商事には 25 年勤務させて頂いております。

入社当時は、不動産に関して何も分からず、当時池田専務率いる部署（池田専務曰く第２軍）でご指導頂きました。その後、谷平部長の賃貸部を引き継ぐ事となりました。

その節は本当にありがとうございました。

現在、一度定年を迎え、契約社員として勤務しております。

日中商事も今後 60 年、70 年と続いていく会社だと思います。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。数々の社員旅行（グアム、別府、九重、熊本等）たくさんの楽しい思い出が今も心に残っています。

シニア世代の私でも
フットワークを大事に

シニア事業部
西島　輝夫

㈱日中商事の創立 50 周年誠におめでとうございます。

簡単にあれから 50 年とは言い切れないですが、半世紀に渡り、数え切れないほどの課題も多かったと想像します。創業者をはじめ創業当時のスタッフ 1 人 1 人が基盤づくりを行い、そして人との繋がりを大事にしてきた事こそが今に続いているものと考えさせられます。

本業以外でも、選挙カード集め・ボランティア活動・イベント参加・奉仕活動・神輿担ぎ参加、と同業者では見られない活躍ぶりで、ダントツ多彩な職場環境と思っています。私は入社後あれから約 20 年の経験しかありませんが、個人的には楽しく務めさせていただきました。今までの土地建物購入希望者又土地建物売却希望者には確かに夢を与える役目を持って仕事を行ってきました。会社があって、そしてこの職場があって、そしてこの環境が私は好きでありますし、後期高齢者の私でもフットワークを大事に動き回っている状態であります。

創立 50 周年記念おめでとうございます。

一匹狼の根性
人生で一度挑戦してみたい
仕事

シニア事業部
谷口　正年

創立５０周年おめでとうございます。

記念すべき５０周年に立ち会えた事を、大変嬉しく誇りに思っております。
シニア事業部歴まだ２年未満ですが、健康のため酒と薬を交互に飲みながら頑張っておりますので、今後とも宜しくお願いいたします

出身は日南市です。延岡市に来て４５年になります。住めば都となりました。趣味は仕事と休みです　高校時代ブラスバンド部に入部し現在も延岡、日向、門川の視覚障害のある皆さんと月２回練習をして元気をいただいております。

九保大退職後は退屈で苦痛の連日でした　そんなある日、今山八幡宮に縁があり、それから社会奉仕に生き甲斐を感じる事ができました。

今山八幡宮が日中商事とこんなに深い関わりがあると知ったのは、それから６年後でした・・・。

戸高顧問より不動産の歴史、現況等を聞いている内、どうせ死ぬなら一度やってみたいと思うようになり現在に至っております。「これが中々・・どうして・・」しかし、夢と楽しさがあり、やりがいは十分です　会社の雰囲気・指導力・チームワークの良さは抜群の魅力です。

上野統括・佐々木社長の心得事項でもある「元気よく活気ある・・・」を肝に銘じながら「一匹狼の根性」で今日も仕事に励んでおります。

ここまでには人知れぬ多難もあった事と思います（株）日中商事を築いていただきました谷平会長及び諸先輩方、現役上司・先輩方に心から感謝致します。

日中商事宮崎店

LIXIL不動産ショップ

弊社は、皆様の「住みたい住まい」にお応えするため、アパート・マンション・一戸建等さまざまな物件を取り扱っております。また、お客様のニーズにお応えするべく、「貸したい」、「借りたい」双方に的確なサポートを行い、安心と信頼性の高い賃貸サービスを提供してまいります。お申込みから、契約締結、入居中のトラブル対応まで、全てご対応させて頂きます。

●営業部（賃貸仲介事業・賃貸管理事業・契約更新事業）

常に「感謝」・「気配り」を意識して

LIXIL 不動産ショップ
株式会社　日中商事　宮崎店
店長 島嵜　　真

皆様、初めまして。私は、令和２年６月に当社へ入社し、２年目を迎えております。不動産業界は、８年目を迎え、お客様より「感謝」いただける事をモットーとして対応しております。また、宮崎店　店長として、当社に携わる全てのお客様・関係者様が感謝いただけるよう従事しております。

常に「感謝」・「気配り」を意識し、お客様に喜んでいただけるよう精一杯精進する所存でございます。当社は、創立 50 周年を迎え、宮崎店におきましても当社にお力添えいただいております家主様・業者様・入居者様等全ての関係者の方々に今後も当社をご愛顧いただけるよう頑張ってまいりますので、今後とも「株式会社　日中商事　延岡本社」・「株式会社日中商事　宮崎店」を宜しくお願いいたします。

宮崎市の賃貸の仲介、管理を担当しています。
お部屋を探している方、管理物件に入居されている方に、担当してもらえて良かったといわれる営業を心がけています。趣味はランチ、ディナーに行くことと、温泉巡りです。心身共にリフレッシュして、最高の営業ができるように心がけています。

これからも仕事を頑張り、精進していきます。よろしくお願いいたします。

入居されたお客様に「良かった」と言われる接客を。

LIXIL 不動産ショップ
日中商事宮崎店賃貸アドバイザー

咲花　紳太郎

清掃事業部

この国を豊かにするのは、この国の、ひとです。
この時代を作るのは、この時代に生きる、ひとです。
すべては、ひとが考え、ひとが動かしている。
そして、人々の基盤となる「くらし」を支えるのも、また、ひとの力。
子育て、家族の健康管理、日々の食事やくらしのなかのお手伝いや介護まで。あらゆる家族とくらしを、ひとの手を介しサポートすること。
くらしに感動と満足をお届けすること。
社会が求める新たなニーズに応えながら、価値のあるサービスを生みだすこと。それが、生活総合支援サービスを担う私たちの使命であり、誇りです。
情報があふれ、高速で流れていく時代だからこそ、
ひととひとが向きあい、つながり、ひとつの輪となって、いっしょに前へと進む。ひとのために、ひとの力で、幸せな未来を築いてゆく。
私たちは常に、ひととくらしに寄り添いながら、これからも成長しつづけます。

延岡北店

２月からは、新入社員も２人入り、上野統括、柳田専務、甲斐本部長にサポートして頂きながら、空室のハウスクリーニングや、一般住宅のエアコン・浴室・トイレ・レンジフードクリーニングを行っています。

みんなで、汚れの落とし方や、どうすれば早くきれいにできるかを相談しながら日々精進しています。

洗濯機の分解清掃や、今の時代の為の光触媒・浴槽追い炊き配管洗浄なども力を入れています。宜しくお願い致します。

優しい影の牽引役。
日々精進しています。

おそうじ本舗 延岡北店

店長 小田　賀峰利

お客様の喜んだ姿を考えながら作業をイメージしてます。

おそうじ本舗 延岡北店

班長 青木　裕太

入社間もないですが、お掃除の事を勉強し、毎日刺激的な日々を過ごしております。

私は、入社させて頂くまで飲食業で働いており、【食】の事しか勉強してきませんでした。

しかし、日中商事で働かせ頂くようになり、今ではハウスクリーニングの事、エアコンなどの事ばかり考えて日々勉強をしております。

これからもお客様の喜んだ姿を考えながら精進していきますので、よろしくお願い致します。

今までは介護の仕事をしており、清掃業は初めての職業です。日々勉強の毎日ですが、とてもやりがいを感じています。私は、浴室クリーニングに力を入れています。とても奥が深く悩みも多いですが、達成感がすごく、とても楽しく仕事をさせて頂いています。まだまだ未熟ですが、よろしくお願い致します。

日々勉強の毎日ですが、とてもやりがいを感じています。

おそうじ本舗 延岡北店

班長 清松　美沙

未来へ向けて

コロナ禍を経て、人々の生活様式が大きく変化する中、居心地がよい日常の「くらし」を実現するには、各地域に住まい、集う「ひと」に着目し、「くらし」に関わるあらゆる産業分野や地域コミュニティーデザインの担い手と連携しながら、地域の新たな価値や可能性を創造していくことが求められます。

そこで、日中商事では、不動産業界と地域コミュニティーデザインの最前線で活躍の中、業種を超えた地域の新たな価値・可能性を創造することを目指してまいります。

未来へ向けた座談会

本年創立５０周年を迎えるにあたって、創業時からこれまでの歴史、創業時からの想いを知るきっかけ知ることで社員のモチベーションが更にあがる事、活気ある日中商事を発信させていただくことになればと創業者谷平会長そして日中商事を発展させていただいた先輩方による振返座談会を開催。振返座談会後、これから未来に向けて、未来志向社員座談会を行いました。

未来志向社員座談会

【甲斐雄】

振返座談会で谷平会長方の話しを聞いてですけど、先輩方がやってきたことを最低限やっていかないと会社が存続できないかと思います。何をやってきたかということを考えると、例えばすぐ相手のところに行ったりだとか単純なところだと思います。相手がすぐきてくれてありがとうという気持ちになるようなことを継続してやっていかないと、何か特別なことをしても、他がやっていないことをやっても、そんなに長期的に会社が存続するとは思わないですね。

以前、とことんお客様に対して接しているかやっているかと言われたことを覚えていますが、それを言われるとたしかに、谷平会長、統括もそうですけど、お客様から名指しでいわれる人間にならないといけないとすごく思います。不動産にしろ、５０周年を迎えるにあたって今年からおそうじ事業をはじめましたが、そうじの受注にしても統括上野君上野君ってくるじゃないですか。例えば小坂さん、佐々野さんって一人一人がなっていれば、すごく強い会社になるのではないかと思います。信頼をいただくには、少しずつの積み重ね、やっていければその先があると確信いたします。

【佐々野】

そうですね。会長や統括を見ていると、驚く程の信頼を感じます。見習う所が山ほどあるので、私も同じように行っていきたいです。

【甲斐千】

たしかにそうですね。今まで築いてこられたこの 50 年という歴史は、前回の座談会での会長や先輩方のお言葉や思いから感じるものがありましたね。
50 年前と今現在、基本的考え行動は変わっていないんですよね。ほんの小さな基本的な事でも積み重ねによって、お客様やオーナー様との信頼関係を築くきっかけになると思います。

【佐々木】

これから先、更に機械化・IT 化が進んでいきます。しかしお客様と真摯に向き合うという姿勢だけは、今までもこれからも変わらない。創業時からお客様と向き合い信頼を築き上げ５０周年を迎えることができたと思っています。

【柳田】

たしかに基本的なことを当たり前にすることが一番難しいと考えます。基本的なことを継続して、ただ発展、進化もさせていかなければならない。これから時代ニーズにあわせて柔軟な対応が必要でないかと思います。

【右田】

室内の設備面のニーズももちろんですが、スマートフォン中心の生活になっている今の時代に求められる事をリサーチし、そしてそれにどう対応していくかも大切だと思います。

例えば、来年の５月から、宅建業法改定に含まれるデジタル改革法案による電子契約など、これからの時代に沿ったやり方というのも発展に必要不可欠ではないかと思います。

【小坂】

私は、ひとつにお客様としっかり向き合い、対応、行動スピードがすごく大事だと思いますが、まずは、社内の業務ルールつくり、そこを確立したい。例えば、何かトラブルがあったとき、こういう風にしていこうとルールがあればみんながもっとやりやすい環境ができ自信をもって業務に対応できる、それによってスムーズな効率的な動きができると考えます。

お客様は日中商事を選んで頼ってよかったって言ってもらえるのと一緒で、働きやすさそれだけではありませんが、社員の人たちも日中商事で働いてよかったねって言える会社になればいいと思っています。

【甲斐千】

私が入社した時と比べてみても、女性社員が増えています。それは女性が働きやすい会社になってきているのでないかと感じています。女性は、仕事と家庭の両立ができなくなったとき、働けなくなることも考えられます。この先も環境や業務システムが整う事が重要だと思いますね。

【佐々野】

それには、先日、就業時間についての話があった様に、就業時間で退社する事、それには業務のスピーディーな対応を行う事が不可欠だと思います。なかなか難しいかもしれませんが、こうした事がよりよい職場環境につながると思います。

【右田】

難しいかもしれませんが、会社定休日があればと思っています。その定休日の時に普段できない様なミーティングとか、現在コロナ過のなか厳しいですが、レクレーション的なことをして社員同士更なる親交を深めていきたい、そういうことがあればいいなと思います。

【甲斐千】

私が入社してすぐに他業者とのレクレーションをした事ありました。
会社対抗のソフトボール大会だったとおもいますが、なかなかお会いすることのない方々と、話す機会ができたし、社員同士の絆も深まったと思います。
一人一人が生き生きとした、よりよい会社だと今後更なる発展にもつながると思います。

【佐々野】

様々な研修、社員間交流研修をしていきたいですね。みんなが一丸となってひとつのチームじゃないといけないと思います。誰かが困っていれば手を差し伸べる。私は手を差し伸べたい。仕事は一人で抱えこまずチーム全体で取り組むべきもの、必ずサポートが必要です。一丸となってそれを続ければ全体にいい会社になって、今よりさらに楽しく仕事をしていると、楽しそうな会社だよねと見てもらえるかと思います。

【佐々木】

社内コミュニケーション重要ですね。社員同士がお互いの知見やスキルを共有し合い、関係性を更に深めていただきたい。それによって社員の成長、社の発展につながっていくと考えます。

【柳田】

皆さんの意見も非常に重要になってきますので、こうしてほしいとか、全部通るわけではありませんが、ご提案して頂ければと、よりよい会社づくりをしていきたいと思います。

親切度No.１日中商事、個人でも親切度No.１を目指し、これから先できるように、目標をもって、また誰を目標とするか自分のなかで掲げてやっていきたいと思っています。

【佐々野】

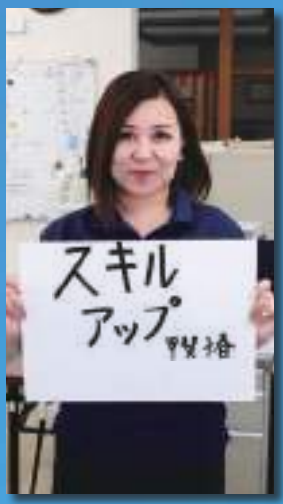
自社ビルについて、今も広く素敵なオフィスだと思っています。日中商事が建て替わっていたらどうなるのかなと考えたりします。新社屋すごく目標に掲げています。

【甲斐雄】

不動産業会社ですけど、５０周年を迎えるにあたって今年からおそうじ事業をはじめましたがプラスで設備関係だとか修繕も全部できる会社になったらと思います。

【柳田】

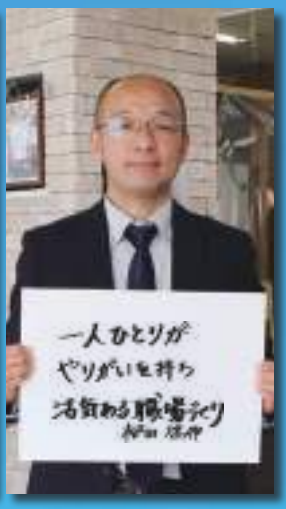
自分たち今このメンバーにしかできないことがあると思うので、時代がかわればメンバーもかわりますが、今のこのメンバーでできることをみつけていって次世代にバトンタッチできるようにこれからできることに挑戦していければと考えています。

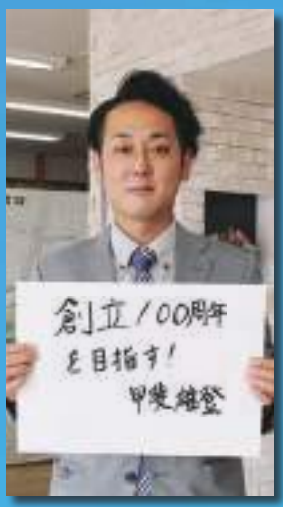

スキル
アップ

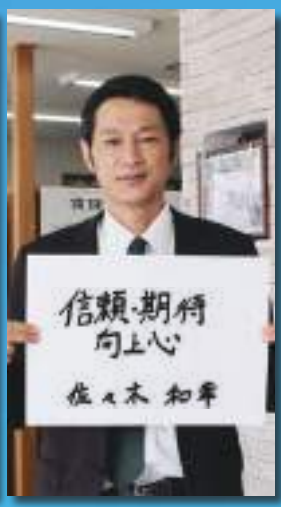
挑戦!!

笑顔

常に笑顔

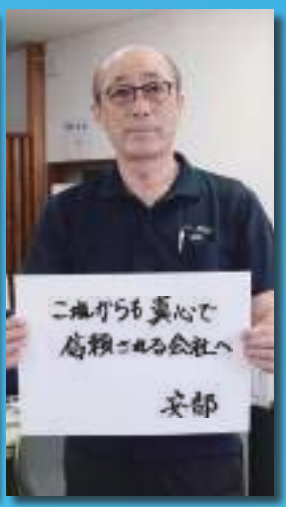

一人ひとりが
やりがいを持ち
活気ある職場作り


創立100周年
を目指す!


信頼・期待
向上心

50年先のステージへ

目指せ!!
オーナー


安部

猛猪進突

宅建
取得!!

STEP by STEP
(一歩ずつ)

不退転

多くの人が集う
明るく元気な会社で
あと50年!!

地域
No.1目標

喜ばれる
業務の向上!

目指せ
No.1!!

社内コミュニケーション

創立 50 周年記念事業

「株式会社　日中商事」は、本記念事業としてまちづくりに取り組む団体様へのご寄付を実施いたしましたことをご報告いたします。

企業理念として掲げる「地域の未来を創造する」の実現に向け、社会課題の解決に積極的に取り組んでいる団体様の活動の一助となり、延岡市の明るい豊かな社会の実現に繋がればと考えます。

寄付先は、企業理念に合致した活動を行い、郷土延岡市のまちづくりに取り組む団体と、「まつりのべおか」など長年まちづくりとしての祭り事の中心的な役割を果たしている神社の中で、これまでの当社との関係なども踏まえて選定しました。

■「今山八幡宮」様

弊社が新年のご祈願もお願いしております。「はちまんさん」の名で親しまれ、2月 10 日､11 日に行われる「延岡十日えびす」6 月 30 日に行われる「水無月大祓祭」、11 月の「秋祭り・秋季例大祭」など年中行事から、まちづくりを取り組んで郷土のために尽力されています。

■延岡市ボランティア団体　「喜の会」様

「郷土発展のために」「共に生きる社会」「環境問題に取り組む」をビジョンに、会員 40 名と共に様々な課題に取り組んでいます。弊社創業者である谷平興二氏によって立ち上げられた団体様でもあり、数々のまちづくりを基本としたボランティア事業に取り組んで尽力されています。

弊社としては、「地域の未来を創造する」という企業理念のもと、創立 50 周年を迎えるにあたり、郷土延岡のために地域貢献に繋がれば幸いと存じます。

今山八幡宮

喜の会

編集後記

創立５０周年の節目を迎え、ここに記念誌の発刊できますことを心よりうれしく思うところであります。無事に記念誌の発刊ができ、ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

当時の資料が非常に少なく困難な状況でしたが、先輩方や退職した職員に協力を得て、写真の提供や座談会という形で当時の状況を知ることもできました。

50 年の思いがぎっしり詰まった記念誌は、１つの区切りとなり、後世に残る貴重な１冊になれば幸いですし、改めて半世紀の歴史の重みを強く実感致しました。

御祝のお言葉、資料のご提供また取材にご協力いただいた方々をはじめ、編集にご支援いただいた、しばまたデザインの柳田様に深甚の謝意を表します。

最後に制作編集に携わることができ、歴史を学び、現在を通して将来を展望する機会を与えられたことに感謝申し上げます。

令和３年 11 月吉日

株式会社　日中商事

株式会社　日中商事

創立 50 周年記念誌

発　行　令和 3 年 11 月 27 日
発行者　株式会社日中商事
　　創立 50 周年記念誌製作委員会
　　宮崎県延岡市瀬之口町 2 丁目 2 番地 15
　　TEL 0982-21-3600
　　FAX 0982-21-2154
印　刷　しばまたデザイン